

はじめに

この度はトヨタハイブリッド車用 車速連動EVボタン制御装置をご購入いただき誠にありがとうございます。
 本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、充分に気をつけて作業を行ってください。短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ECU（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。
 また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。
 車種毎の配線図を車を購入されたディーラから入手されると、より具体的なサポートが可能となりますので、ご一考願います（必要な部分は、EVボタン周り、ナビ配線周りの配線図です）
 それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

動作仕様

本装置の動作仕様は、下記のとおりとなります。

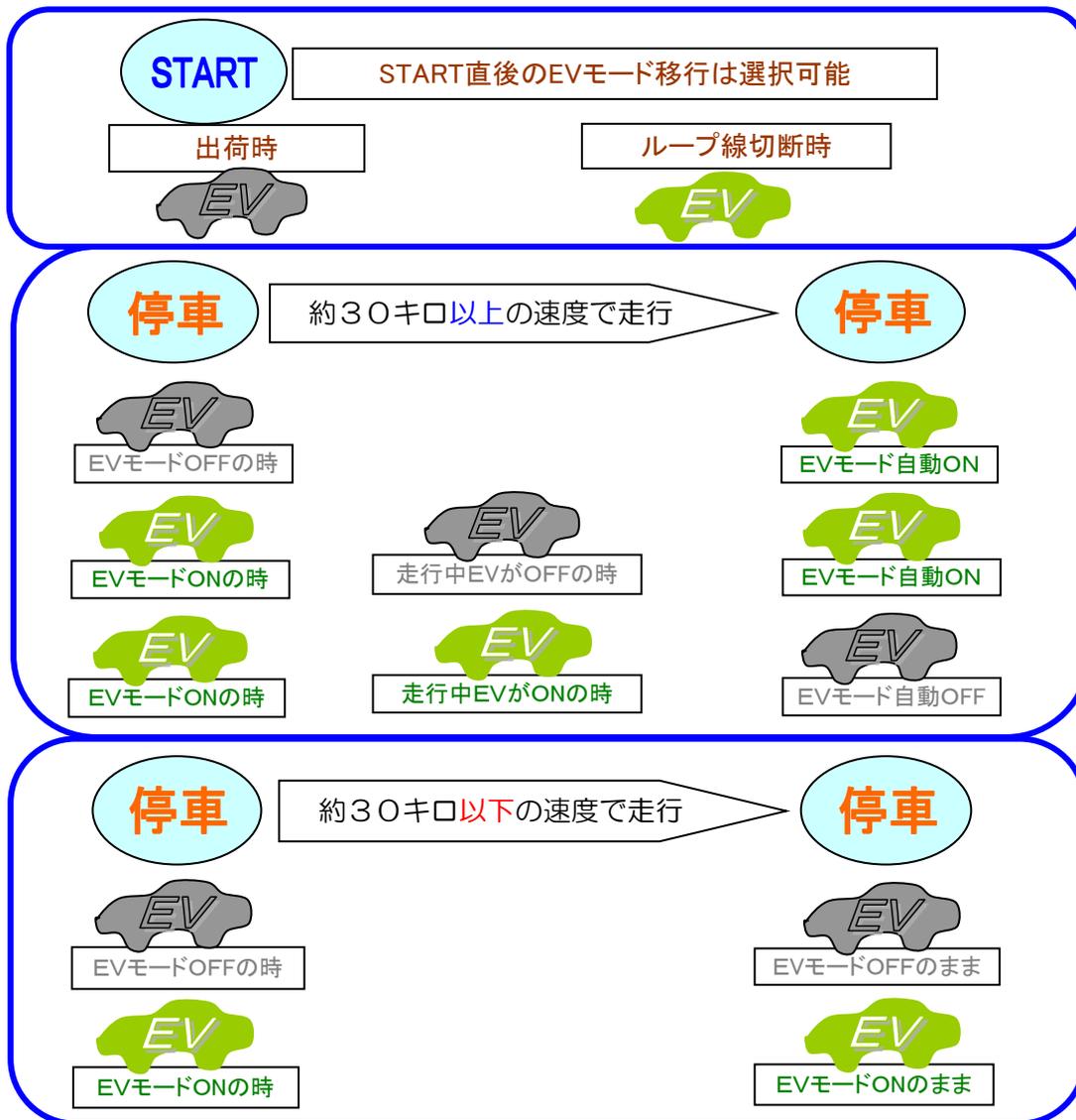
- ◎ACCオン後、強制的にEVモードに移行するか移行しないか選択可能です。
- ◎車速ゼロ検知後、EVボタンを自動的に有効にし、直ちにエンジンを停止させます。
 ※車両EVボタンを押しした時にEVモードに移行できる状況に限ります。
- ◎停止時から走行に移行しても、時速約30km以上に車速が上がらずに、再度停車した場合はEVボタン操作をキャンセルします。
 街乗り時の”STOP&GO”による不要なスイッチ操作を防止するためです。

※本装置は12V車専用です。 12V車両以外には取付けできません。
※本装置が対象としている車両は、EVボタン装着のトヨタ製ハイブリッド車両となります。

免責事項

装着の着手を以って、ご了解いただいたものとさせていただきます。

1. 本装置の装着はすべて自己責任のもとで実施願います。
2. 本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても当社に責は無いものとします。



取り付け手順

※取り付けにはテスターまたは検電ペンが必要です。

※作業開始前に 装置配線図 を良く御覧いただき、各配線の接続先についてご理解をお願いします。

<EVボタン周りの配線接続>

1. EVボタン裏の配線にアクセスできるようにインパネ類を外します。
2. テスターにて EVボタン裏の配線を確認し、下記の信号配線を探し出します。
ACCオン状態で、通常は12Vまたはオープン（どこにも繋がっていない状態）となっており、EVボタンを押している間のみ、ボディーアースと短絡する配線。
3. 探し出したEVボタン信号配線に装置の該当する配線を接続します。
※EVボタン信号線は 切断しません。 装置の配線を Y結線 となるように接続してください。

<その他の配線接続>

1. 走行時にパルス信号が出力される配線を確認します。
※本装置に装着されているLEDは車速信号確認用のものです。車両停止時に点灯、走行時に点滅していれば正常に車速信号が入力されています。
走行中に運転者がLEDを確認するのは大変危険です。必ず同乗者に確認してもらうようにしてください。
2. キーがACC位置の時、+12Vが流れる配線を確認します。
上記配線の位置は車種によって異なりますが、ナビ装着車はナビ裏から取れる場合が多いです。
3. 上記配線に装置の対応する配線を結線します。
※上記 車両側配線は 切断しません。 装置の配線を Y結線 となるように接続してください。
4. 装置のボディーアース線を車両のボディー金属部に接続します。
※確実にボディー金属部に接続してください。塗装部分や、ドア金属部は導通していないのでボディーアースとなりません。
5. 起動直後に強制的にEVモードに移行させたい場合は、MODE選択ループ線を切断してください。
6. 装置本体を、外力が加わらない場所、水滴が掛からない場所、結露しにくい場所（エアコン噴出し口はNG）にタイラップ等で固定します。

以上で終了です。 お疲れ様でした。

配線説明図

